



3回目コロナワクチン “前倒し”接種進む ら・ら・ミュウに常設会場

オミクロン株の拡大が懸念されている中、いわき市は、新型コロナウイルスワクチンの三回目接種について、接種間隔の前倒しに踏み切った。二月三日からは、いわき・ら・ら・ミュウに常設の集団接種会場を開設し、対応にあたる。

前倒し接種は、政府の方針を受けた措置。従来の「二回目から八カ月」という接種間隔を早

めている。

具体的には、医療従事者、高齢者施設の入所者と職員ら、入院患者が「同六カ月」となり、そのほかの一般高齢者（六十五歳以上）も二月から短縮されるよう。また、政府の方針では、六十四歳以下も「同七カ月」に前倒しされる。

医療従事者の場合、昨年十二月から接種が始まり、同月下旬から前倒しに。施設への入所者と職員ら、入院患者の場合、施設ごとに意向を確認して進められている。

一般高齢者の場合、一月半ばから「同八カ月」の間隔で個別接種が始まっているが、二月か



いわき市内で進むワクチン接種。昨年四月

ら前倒しに。これに伴い、市は二月三日から、ら・ら・ミュウに集団接種会場を開設。運営は原則水・日曜の週五日で、時間は午前九～正午、午後二～五時を予定している。接種人数は一日三百六十人。

ネットでの予約も

三回目のワクチンは一、二回目に接種した種類にかかわらず、ファイザー社、または武田・モデルナ社製が用いられる。集団接種会場の場合は、武田・モデルナ社製。一、二回目と異なる種類を使う「交互接種」になる場合もあるが、安全性や効果

コンカレが今春 入学の学生募集 26日にOPキャンパス

いわきコンピュータ・カレッジ（泉町）は現在、今春入学予定の学生を募集している。

新卒を対象とした第二回特待生と第五期（指定校推薦・推薦・一般）の募集で、出願期間は二月一日～三月九日。試験は三月十六日に行われる。

「二からコンピュータを勉強し、仕事に生かしたい」という社会人対象（受験料免除）も同時、受け付け中。

同校は人型AIロボット、3Dスキャナー、レーザー加工機、高性能ドローンなどの先端教材を使用して、充実したIT技術や、プログラミングを学ぶこ

に差はないという。

また、市では、コールセンターの人員を従来の最大四十人から同八十人に拡充。市内十三地区の支所や公民館に「高齢者予約サポートセンター」を設けたほか、ワクチン供給量に合わせて、順次接種券を発送することで、円滑な接種を図っている。

一方、混雑緩和のため、インターネットでの予約を呼びかけている。

予約する場合は、接種券が届いてから、予約サイト（<http://iwaki.hbf-rv.jp/third/>）かコールセンター（電話〇一〇〇―〇五三―五〇〇）で申し込む。

とができる。

校内見学や最新システムを体験できる「オープンキャンパス」は、二月二十六日午前九時から同校で開催される。

問い合わせは、同校（電話五六一〇七一一）まで。

P・C・Sの大田さん 『ゴキゲン本』出版

本誌で連載も

泉もえぎ台在住、P・C・S（プロフェッショナルコミュニケーションスキル認定トレーナー、会社員、大田寛子さん）写真右下の著書『あなたをゴキゲンにする36のメソッド』がこのほど、発刊された。

大田さんはいわき市出身。二〇一四年、同トレーナーを取得。二十年以上、商社、メー



カー等での経験を通じて、経理から接客のスキルを磨いた。本誌では二〇一八年一月号から一年間、「変わる、かわる、体と心がカワル」のタイトルで連載、手軽にできる有酸素運動のウオーキング法などを誌上伝授。

P・C・Sとは、コミュニケーションを持つて生まれたセンスではなく、技術として身に付けること。大田さんは、同トレーナー、所作と歩き方のインストラクターの経験をもとに、「この本で、より良い日常を過ごすための解決策としてほしい」と、話している。

本書は「P・C・Sとは」「あなたを知ってゴキゲンに」など四部構成。B6版・九十八ページ・一冊一千七百円＋税。NPO法人日本コミュニケーションスキルアカデミー出版事業部発行。アマゾンで発売中。

詳細は、Amazon Rコードまで。

